

公民館だより

55-12

良館
由公民

心のふれあい

あいさつ運動

館長 藤本秀雄

先日「かいりん」でお願ひしましたように、由良ふるさと教室で大人も子どももみな「あいさつ」し合うような、地域社会にしようではないかと話し合いましたので、区民の皆様のお協力を重ねてお願いいたします。

単にあいさつするだけでなく、小中学校や青年会でも努力されている、子どもも悪行や悪戯に對しては注意するといった「守かけ」の意味も含んでおりますのでよろしくお願ひします。

先日、福岡県で知野さんのお話をきく機会がありました。福岡県では「オアシス」運動といつて果をあげて、人づくりのため、青少年育成のため「あいさつ」し合うことになっているとのことでした。又近くでは、丹波川津でも地区とあけて「あいさつ運動」下りりくんで、地域の和、連帯感といふことで成果

残すための、お祝いの効果が僅少で燃戦がうかがえる

三 盆踊り

八月廿三日

今年は連日の雨で危なまされ、夜に行くと上空となり、盆踊りにふさわしい好天となつた。その上、一自治会長自ら区民を動員されたこともあって、予想以上の踊り手が揃ひ上つた。ゆかた姿の女の子が、大人になつて踊り、なにかな風景であつた。



四 文跡めぐり

八月廿三日

毎年、研究のための行事で、昨今年から市教育委員会の後援の下預り、福井県小浜方面の神社佛閣を視察し、得る処多く参加者より喜ばれた。

五 ふるさと教室

「青少年のための環境づくりをめざす具体的な方策について」のテーマ

与謝教育所より宮崎先生、市教育委員会より坂口主事出席の下、地域的な問題意識を取りあけて熱心な討議があった。その経過が新聞紙上となつて、具体案は市教育委員会に一任となつた。

六 ふるさと教室運営委員会

九月廿九日

をあげている由です

最初は「ふれあい」が「か」初めて「あ」が「い」どうも「すみません」と暗しみなく使っている、人間のなめたたかい心の交流が、又連帯感もできていくことと思います。温かい社会は、人と人との心のつながりだと思ひます。更に「守かけ」により、交通事故を初め、老後防止まで考える考えます。

すべての人間が幸せになり、平和な家庭や明るい地域をつくるための一つとして「あいさつ運動」に協力ください。

報 告

一 ふるさと教室運営委員会 (一) 七月十二日

多くの問題点を検討しながら、あいさつ運動を軸とする事を確認しあつた。

二 球技大会

八月十五日

永年使つてぬた優勝盃(政井土農氏寄贈)が、い片み、今年から新しい優勝盃を政井土農氏の寄附金(定期預金)の一部を活用して頂き新調致しました。優勝盃を贈じ、政井土先生の御遺徳を永く偲びたく思ひます。

さん然と輝く立派な優勝盃に初回の優勝記録を

第一回ふるさと教室の要望により具体案

十日 準備月間 回覧 有線放送

十日 函調月間 標語 ポスター 作文

文化祭に小学生の絵の出品等で、一般の人々衆知を計り、広報活動をはかる。

七 ふるさと教室(二)

十月二十日

「高校生の現状と対策」へ地域に正しく位置づける「テーマ」で、西舞鶴高校の矢野先生を招き、与謝教育所、市教育委員会、市教委より室田係長、堀口主事の出席と、各高校教員及会役員の特別参加を導き前催された。中でも高校生の生活実態を聞き、意外の事実の多さを聞き、今後慎重に対処する必要を感じ、持た後日、全高校青年会員の集会を持つことを確認した。

寄 附

一 辞典 二冊 中西俊夫氏

二 灰皿 三〇個 中西富士氏

三 ソフトボール 三〇個 竹田道夫氏

四 金三〇〇〇円(祝儀) 四方寿朗氏

五 優勝カップ 二個 政井土農氏

(2)

(1)

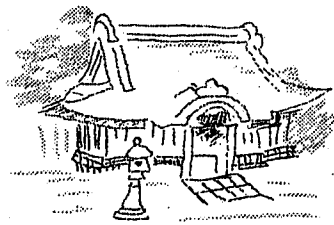
第四回

史跡めぐりを終えて

公民館の活動の一環として、毎年行っており、文化財めぐりを、本年も公民館と社会教育団体関係者の研修を目的として、去る九月七日に実施しました。今年は、小浜市内の文化財を訪ねました。

探訪コースは、次の通りです。

妙楽寺—万徳寺—神宮寺—明通寺



吾狭は、奈良素大寺二月堂の、お水とり、の行事にありまますように、わかさ井のお水送りをするなど、ふるから大和の政權と深いかわりをもつ地で、若狭國分寺跡(圓形)のあったところに建立)をはじめ、数多くの文化財を残すところでもあります。また中世、近世の守護や大名の時代にわたっては、外敵の侵入を許さなかつた(武田、一色の戦い)のように戦場は丹波)など、今に至るまで古い遺跡や史跡を残している土地であります。

また、この丹波のかかわりも、丹波、但馬とも深い関係で、丹波の歴史を知るうえでも是非知ってお

チームと、上巻津との対戦。リラックスして、いろいろいいながら、始めての試合体験で、みんな固くなり、動きも思わぬようにならない。でも一生懸命をかけた合いながら、第3セットまで持ち込んだが、惜しくも敗れた。第2試合は府中のCチームとの対戦。始ノセットをとりついで、またもだめかと、内心むやくしながらの戦いだったが、これではだめだと気を引きしめ、お互いはけまし合いながら、2セット、3セットと、とりついでノ勝をあげた。

サークルチームは、日頃の練習の成果が上り、安定した攻撃力、レシーフと応援も、手ごたえは老分だったが、昨年準優勝の府中Aチームとの対戦で惜しくも敗れ、残念だった。第2試合では、吉津のAチームとの対戦ノセット、2セット共にとり、勝った。ママさんバレーとはいいながら、どの地区もレベルが上り、ますます盛んになっていくようである。

試合の結果、ノ位は栗田Aチーム、2位は府中Aチーム、3位は、之チームで、栗田Bチームと日置チームとなった。

由良のバレーサークルでは、木曜日と日曜日の週二回、持日曜日の夜8時から、新人養成のため、基礎練習を浜崎コーナの指導のもとに行っている。より多くの新人が参加されることを願い、来年の大会に望みたいと思う。

かねはならぬ土地ということでは計画をいたしました。それそれの訪問先では説明を聞くなど教わることも多くあったように思われます。参加の皆様にも大変参考になったことをお聞き願うなど、好評に終ることができました。このことを区に報告します。

なおこの計画実施にあたり、訪問先への依頼から車中のことなど、市教育委員会にご援助を賜ったこと併せて報告し、お礼いたします。

宮津市婦連

バレーボール大会に

参加して

(3)

十月二十六日、快晴にめぐまれ、宮津中学校において、第2回市婦連バレーボール大会が、盛大に行われた。本年は、昨年より3チーム増しの4チームが参加した。色とりどりのユニホームに身をきためた選手、どのチームを見ても、自身に満ちている。我が、由良選手団も、今年はこのチームの参加。新人チームと、サークルチームの総勢19名、浜崎コーナに週3回の持訓を受けて、堂々の会場入りをした。前会式、準備体操のあとの第1試合は、由良新人

出場選手の紹介(敬称略)

サークルチーム	新人チーム
木谷照子	枝子
川崎美幸	幸信子
吉田愛子	西垣千鶴子
小室三恵子	中垣山下初久子
小玉恒子	山井西田勝子
中西巴子	糸中西中田林
本藤美子	中田林
坂則子	小室

(4)

由良調査

昭和55年10月1日現在

1. 世帯数 503戸

2. 人員 1,694名

男 774名

女 920名

スポーツサークル

一 剣道 由良少年剣道教室

資格 小学校三年生以上
 会費 四〇〇〇円(年間・主として防具費)

現任員 四〇人
 練習日 火曜日・金曜日
 初級合格者

昭和五十五年三月廿三日(福知山陸上自衛隊下於て)

- (1) 吉岡 誠 (中ニ) 当時中一
- (2) 岸田 則良 (高一) 中三

昭和五十五年八月廿四日(銅野中學校に於て)

- (1) 梶田 真 (中ニ)
- (2) 磯田 保 (中ニ)
- (3) 山田 岩 (中ニ)
- (4) 五垣 光昭 (中ニ)
- (5) 中西 俊英 (中ニ)



二 野球

由良少年野球クラブ

資格 小学校三年以上六年生迄
 会費 五〇〇円(月額)

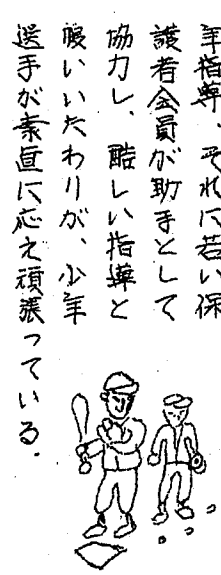
現任員 四〇人
 練習日 土曜日・日曜日
 後援会 保護者会々長糸井治孝氏

戦績 二勝四敗

- 三月 栗田 8-10 由良
- 六月 喜多川 8-11 由良
- 八月 由良 3-12 桑園
- 八月 由良 3-12 吉津
- 九月 喜多川 3-10 由良
- 十月 喜多川 3-12 由良

後半より実力が上り、取けても差が縮む。これ七ロスの大

森貴一氏の熱意ある少年指導、それに若い保護者全員が助手として協力し、酷しい指導と腹いいたわりが、少年選手が素直に心え頑張っている。



値段の正史 (一)

中西 芳三郎

値段の正史と申しますか、其の移り変わりを記事の理合せに載せると云う事で、ます米価(吉田親夫・小室文雄西氏の御助力による)を取り上げました。地区は元知佐郎(大江町・舞鶴市・由良)単位は一石(一五〇キロ)・価格は円単位で、四捨五入する

陸上教室開始

ノ目的 体位向上とその人に合うスポーツを次
 の、専門として精進するため
 之範圍 小中学生(より)一般男女を問わず
 之場所 由良小学校々々
 之練習日 月曜日・水曜日・木曜日
 之時間 午後四時三〇分より一時前
 之雨天 由良小学校体育館で体操を行う
 之申込み 浜野路小室文雄氏まで

年	価	年	価
24	6	1	6
25	6	2	8
26	7	3	3
27	8	4	4
28	8	5	3
29	11	6	6
30	13	7	4
31	9	8	4
32	12	9	4
33	11	10	6
34	12	11	6
35	14	12	8
36	12	13	11
37	13	14	8
38	14	15	7
39	15	16	4
40	18	17	5
41	15	18	5
42	12	19	5
43	14	20	4
44	17	21	4
		22	7
		23	6

(6)

昭和四十年 大洪水、由良も亦未曾有の被害をうける。

(5)

大正年間

年	価
1	11
2	21
3	12
4	13
5	15
6	23
7	40
8	54
9	31
10	47
11	28
12	35
13	36
14	36

大正八年は、七年に較いた凶作と、業者の買占め等々、米騰各地方米騰動向、昭和大へって

年	価	年	価
24	4,250	1	34
25	5,525	2	29
26	7,000	3	28
27	7,500	4	29
28	8,200	5	18
29	9,260	6	17
30	10,160	7	22
31	10,082	8	33
32	10,322	9	29
33	10,323	10	31
34	10,333	11	30
35	10,292	12	35
36	11,100	13	36
37	11,742	14	43
38	13,204	15	43
39	15,001	16	44
40	16,375	17	47
41	17,875	18	48
42	19,321	19	91
43	20,672	20	300
44	20,672	21	550
45	20,681	22	1,725
46	21,305	23	3,595

(7)

年	価
47	22,300
48	25,645
49	34,037
50	38,925
51	41,430
52	43,190

十年間は、豊凶存下かかって上げ下げの波動甚しく、米価の平均値は、米相場に示された、戦後相場、三等米、米の収得量も高騰した

昭和五十二年新入

(8)